

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 31日

事業所名 川崎市子ども発達・相談センター みいも

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	2	1	法定基準は満たしているが、職員指導の観点で配置上の調整が必要な場合がある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・動きのある活動と着席して取り組む活動それぞれ部屋を分けた環境設定にしている。 ・エレベーターを使用しベビーカーでも事業所前まで来所できる。 ・入口にホワイトボード等を設置し情報の一元化ができるよう工夫している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・加湿器・空気清浄機、除湿器を設置してる。 また、手指消毒液を保育室に設置している。 ・運動スペースは十分な運動活動ができる広さを備えている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	0	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス中間時に個別面談を実施し、保護者の意向を把握する機会を設けている。 ・評価表にて現状を把握し、必要に応じて業務改善に努めるようにしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	2023年10月に開所したため、今回が初めてとなる。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	必要に応じて実施を検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	北部地域療育センターと一体となった研修を実施している。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	クラス担任全員でクラス活動について話し合いを行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	お子さんの発達状況に合わせた活動を考案するよう心掛けている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	クラス開始前に必ず打ち合わせを実施している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	クラス終了時に必ず振り返りを行い、次回のクラス運営に向け改善点を話し合っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	日誌や個別記録等で適切に記録している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	0	同事業所内川崎市担当者と密に連携をとり児童情報を共有、必要に応じて区地域支援課、地域子育て支援担当と連携を取っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	保護者の意向に合わせて、所属園との連携と情報共有を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	必要に応じて小学校への移行支援を実施していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	同じエリア内に同一法人が運営する療育センターがあるため、週1~2回程度連携をとっている。また、研修や専門職との連携も必要に応じて実施している。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	事業所の特性上していない。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	クラス開催時には、保護者とお子さんについての日々の様子の確認をしている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	0	保護者に向けた学習会を取り入れている。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	契約時や利用調整の際に行っている。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	0	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	事業所の特性上、そのような会はない。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	相談の申し入れがあった場合は速やかな対応を心掛けている。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	活動に関するお知らせ・ねらいなど発信している。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	0	パスワードや鍵のかかる書庫などに保管し、第三者の目に触れないよう留意している。
	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	事業所の特性上していないが、地域へ開所の挨拶は行った。
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	

非常時等の対応	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	2	1	契約時に保護者へアンケート調査を実施し、体調面についての聞き取りを行っている。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	